

「NHKの出演者に対する人権尊重のガイドライン」について

NHKは、これまで、「NHK 国内番組基準」や「NHK 国際番組基準」、「NHK 放送ガイドライン」などに基づいて、人権、人格を尊重して番組の制作・放送などを行ってきました。今後より一層、この取り組みを強化するため、「NHKの出演者に対する人権尊重のガイドライン」を作成しました。

NHKおよび関連団体のすべての役職員は、このガイドラインを順守して、出演者の人権、人格を尊重し、安心・安全な制作現場の確保に努めてまいります。

「NHKの出演者に対する人権尊重のガイドライン」

- 人権、人格を尊重し、コンテンツ制作のあらゆる段階で、誰もが十分に能力を発揮できる規律ある制作現場を目指します。出演者に対する性的搾取、性的虐待を排除し、悪質な嫌がらせや差別的または攻撃的な行動を認めません。
- 制作現場において、人種、民族、国籍、宗教、障害、政治的思想、性別、年齢、ジェンダーなどいかなる理由による差別も認めません。
- 強制労働など人権を侵害する労働慣行は認めません。
- 子どもの人権を尊重し、児童労働や児童虐待を認めません。未成年の出演者については、労働基準法など関係法令・法規を順守します。
- 出演者1人ひとりの心身の健康に配慮し、安心・安全な環境の確保に努めます。
- NHKおよび関連団体のすべての役職員は、出演者の人権を尊重します。